



慢性の病いとともに生活する人のセルフケア支援

看護学科

山岸 直子 准教授

【研究分野】 糖尿病とともに生活する人のセルフケア支援、看護師のアセスメント
 【キーワード】 慢性の病い、糖尿病、セルフケア、自己管理、アセスメント、高齢者、独居
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=113yama>



研究概要

糖尿病や高血圧などの「慢性の病い」とともに生活をする人は、健康維持のため様々な「セルフケア」が必要となります。「セルフケア」とは、「自分自身のために」「自分で行う」ことを意味しますが、このようなセルフケアを生活の中で継続的に行うことは容易なことではありません。さらに、セルフケアが困難となりやすいひとり暮らし高齢者や高齢夫婦のみで生活している人も増加し、生活状況に合わせたセルフケア支援が求められます。

そのため、その人の生活状況に合わせて、生命や健康の維持のみならず生活の楽しみも維持しながら自分らしく生きることを目指した「セルフケア支援」に関する研究に継続的に取り組んでいます。

研究紹介

- 糖尿病とともに生活をする人を対象とした調査と、その人々を支援している看護師を対象とした調査に取り組み、双方の視点を統合した多角的・包括的な支援を検討しています。
- 独居の高齢2型糖尿病患者の自己管理の実際と支援ニーズ
 –同居者のいる高齢2型糖尿病患者との比較–
- 独居の高齢2型糖尿病患者に対する熟練看護師の看護支援
- 高齢糖尿病患者のセルフケア支援のためのアセスメントツールの開発
- 人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に向けた共同研究にも取り組んでいます。
- 人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表明プロセスを推進する研修プログラムの開発

講座テーマ紹介

- 糖尿病・高血圧・慢性腎臓病などの生活習慣病の予防や健康維持を目指した行動促進（行動変容）に関する講座
- 高齢者やひとり暮らし高齢者の健康や生活の楽しみの維持を目指した支援に関する講座
- 健康な人・慢性の病いをもつ人へのアドバンス・ケア・プランニング推進に関する講座

アピールポイントなど

これまでの研究では、主に糖尿病とともに生活をしている人々からの「病いの語り」を伺い、どのような体験や思いを抱きながらセルフケアに取り組んでいるか、求められる看護について明らかにしてきました。病いとともに生活をする人々の視点に立ち、生活の楽しみの維持を大切にセルフケア支援に取り組んでいます。